

別紙

広島アルミニウム工業株式会社千代田工場温室効果ガス削減実施状況報告書

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

広島アルミニウム工業株式会社 千代田工場

(2) 事業所の所在地

山県郡北広島町有間281-6

(3) 業種

アルミニウム・同合金ダイキャスト製造業

2 計画の期間

本計画の期間は、平成21年(2009)年度を基準年度とし。平成23(2011)年度から平成27(2015)年度までの5年間とする

3 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標の達成状況

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量 (t-CO₂)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度実排出量(a)	目標年度 上段：見込量(b) 下段：削減率(c)	計画期間の実績 (上段：実排出量(d)，下段：削減量の対基準年度比(e))				
	平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度
エネルギー 起源CO ₂							
非エネルギー 起源CO ₂							
メタン							
一酸化二窒素							
フロン類							
温室効果ガス 実排出量総計							
温室効果ガス みなし排出量							
実績に対する 自己評価							

※ 削減率(c) = ((b) - (a)) / (a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a) - (d)) / (a) × 100

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標： 内製高

温室効果ガスの種類	基準年度の実績(a)	目標年度 上段：目標(b) 下段：削減率(c)	計画期間の実績 (上段：原単位実績(d)，下段：削減量の対基準年度比(e))				
	平成21年度	平成27年度	平成22年度	平成23年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度
エネルギー 起源CO ₂	3,449	3,139 -9.0	3,553 -3.0	3,644 -5.7			
非エネルギー 起源CO ₂							
メタン							
一酸化二窒素							
フロン類							
温室効果ガス 総排出量	3,449	3,139 -9.0	3,553 -3.0	3,644 -5.7			
エネルギー消費 原単位 (原油換 算k1)	5,328	4,849 -9.0	6,479 -21.6	7,024 -31.8			
実績に対する 自己評価	東日本震災の影響で、2010年の中旬まで効率的な生産が出来なかった、又後半より連操勤務に入り、溶解炉で土日の生産ロスが大きくなり生産効率が悪くなり、原単位が悪化した						

※ 削減率(c) = ((b) - (a)) / (a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a) - (d)) / (a) × 100

4 温室効果ガスの排出の抑制に係る具体的な取組の実施状況

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組み

	項目	削減量等	具体的な取組み
1	重油使用量の削減	重油使用量を9%削減	<ul style="list-style-type: none"> ・ 溶解炉、浸漬炉の放熱損失防止 ・ 燃焼効率の改善 ・ 操業効率の向上 ・ 温度管理の最適化 ・ 製品歩留向上
2	電気使用量の削減	電気使用量を9%削減	<ul style="list-style-type: none"> ・ エコサーバーの導入 ・ 省エネコンプレッサーへ更新 ・ エアー漏れ撲滅
3	LPG使用量の削減	LPG使用量を9%削減	<ul style="list-style-type: none"> ・ 廃液量の低減 ・ 廃液設備効率改善
4	揮発油使用量の削減	揮発油使用量を9%削減	<ul style="list-style-type: none"> ・ ガソリンからバッテリーリフトへ更新 ・ 低燃費、低公害車へ更新

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組み（環境価値の活用等）

	種類	合計量
1		
2		
3		

○ その他の取組み

	項目	数値目標	具体的な取組み
	廃液排出量の削減	廃液量を18%削減	<ul style="list-style-type: none"> ・ 離型剤使用量の低減 ・ 回収離型剤の使用
	紙使用量の削減	紙使用量を12%削減	<ul style="list-style-type: none"> ・ 裏紙使用の推進 ・ 帳票、表示物の見直し ・ 配付物の見直し

※ 環境に配慮した実践的な取組みなどをされていれば記入してください。